

登録コード	F9000990	開講年度	2026				
授業科目	高等学校教育実習				担当教員	河村 隆 他	
英文授業名	Practice Teaching in High School				副担当	藤井 善章・小山 茂喜	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	学部4年
講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	22Fカリ						
	【2020年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し理解できるとともに、自ら適切な手段により発信し、他者に働きかける能力が身に付いている				・教職課程での学びを生かし、実践的な教育活動を体験することを通して、自らのカリキュラム・マネジメントの資質能力を開発すると同時に、コミュニケーション能力を高める。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	実習校でこれまでに学んだ内容を踏まえて、教科学習を中心に実践的に教育活動を展開する。						
(5)授業計画	実施時期：5月～9月（6月上・中旬頃に行うことを原則）実習校と協議して決定します。 全授業時間...60時間以上（実習期間2週間） ・授業参観 ・授業担当（研究授業を含む） ・放課後の研究指導 ・学級経営の参加						
(6)成績評価の方法	教育実習受入校での評価と、実習録等のデータから総合的に判断する。						
(7)成績評価の基準	教育実習の「実習録」、「評価書」、「出勤簿」に基づいて評価します。 授業の達成目標の水準にあるか否かの基準は次の通りです。 卓越している（秀，90～100点）：上記3点全ての内容が優れていて，教員を感心させるレベルにある かなり上にある（優，80～89点） やや上にある（良，70～79点） 水準にある（可，60～69点） 水準よりやや下にある（不可，50～59点） 水準にない（不可，49点以下）						
(8)事前事後学習の内容	教育実習受入校の担当教員の指示に従ってください。 関連の授業として「教育実習事前・事後指導」が設定されており，こちらも必ず受講してください。						
(9)履修上の注意	必要があれば指示します。						
(10)質問,相談への対応	質問・相談は，随時，下記で受け付けます。 藤井善章 fujiiy@shinshu-u.ac.jp 小山茂喜 shigeki@shinshu-u.ac.jp 教職支援センター（松本キャンパス），内線811-7297，0263-37-3367						
(11)学生へのメッセージ							
(12)その他							
【教科書】	「教育実習安心ハンドブック」小山茂喜編著、学事出版、2018年、ISBN978-4-7619-2476-8、1800円						
【参考書】	なし						